中外製薬のご紹介

2020年12月10日（木）

中外製薬株式会社
代表取締役社長 最高執行責任者
奥田 修

本プレゼンテーションについて

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び将来に関する見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

本日の内容

- **会社概要**
- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- 更なる成長に向けた取り組み
- 業績と株式関連情報
- まとめ

会社概要

日本橋三井タワー
11.12.15階～20階

創業	1925年3月10日
売上高	6,862億円 (2019年期連結)
コア営業利益	2,249億円 (2019年期連結)
従業員数	7,393名 (2019年12月末)
本社	東京都中央区日本橋室町2-1-1
拠点	研究所（国内３、シンガポール）開発（日･米･英･中国･台湾）
	工場（国内３、中国）営業（日･英･独･仏･中国･台湾）

創業から大切にしてきたこと

創業時の「患者さんと人々の健康に貢献する」という意志を受け継ぎながら、
社会や患者さんの期待・要望の変化に応じて、ビジネスモデルを変革してきました。

輸入商社

Roche
CHUGAI
Roche ロシュ グループ

1925

関東大震災後の薬不足を憂いて創業

1960s

医療用医薬品へのシフト

1980s

バイオ医薬品への注力

2002

ロシュと戦略的アライアンス開始

ミッションステートメント

存在意義（Mission）

革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、
世界の医療と人々の**健康に貢献**します。

価値観（Core Values）

1. 患者中心
患者さん一人ひとりの健康と幸せを最優先に考えます。

2. フロンティア精神
自らを磨き、新たな発想で、イノベーションを追求します。

3. 誠実
常に誠実な行動で、社会の期待に応えます。

目指す姿（Envisioned Future）

ロシュとの協働のもと、**独自のサイエンス力と技術力**を核として、
患者中心の高度で持続可能な医療を実現する、
ヘルスケア産業の**トップイノベーター**となります。

製商品売上高の構成

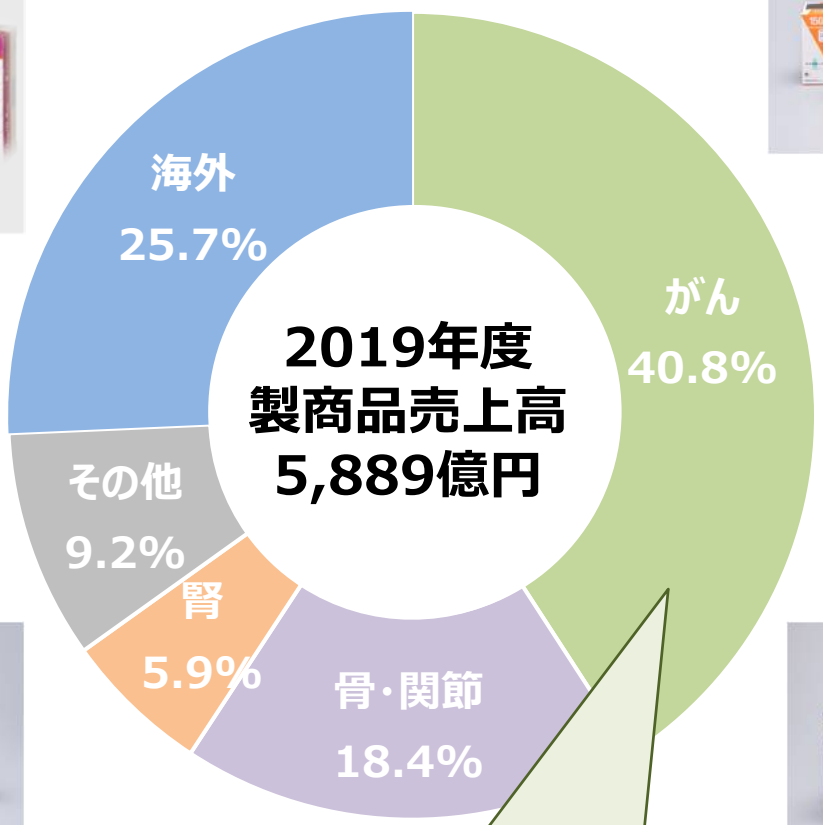
青字：抗体医薬品

その他領域

ヘムライブラ　エンスプリング
セルセプト　タミフル
Foundation Medicine

がん領域

アバスチン　テセントリク
パージェタ　アレセンサ
ハーセプチン　カドサイラ
リツキサン　ガザイバ
ゼローダ　ロズリートレク



国内がん領域でトップシェア
16.4%*

腎領域

ミルセラ　オキサロール

骨・関節領域

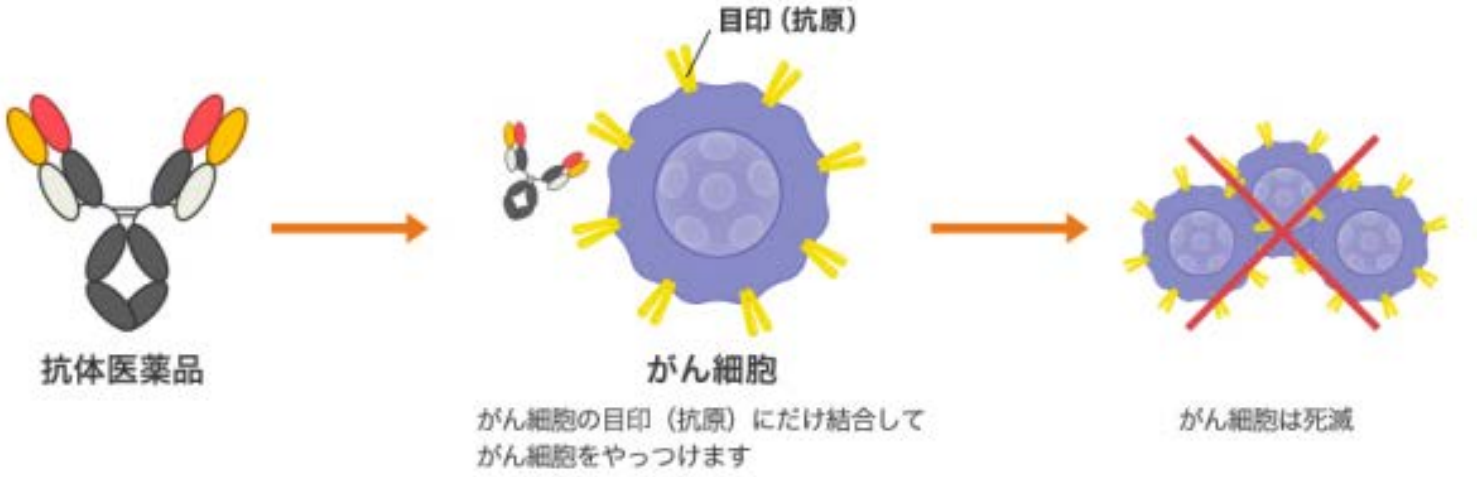
アクテムラ　エディロール
ボンビバ　スベニール

*Copyright © 2020 IQVIA.
出典：IQVIA 医薬品市場統計2019年12月MATをもとに作成　無断転載禁止
市場の定義は中外製薬による

抗体医薬品とは

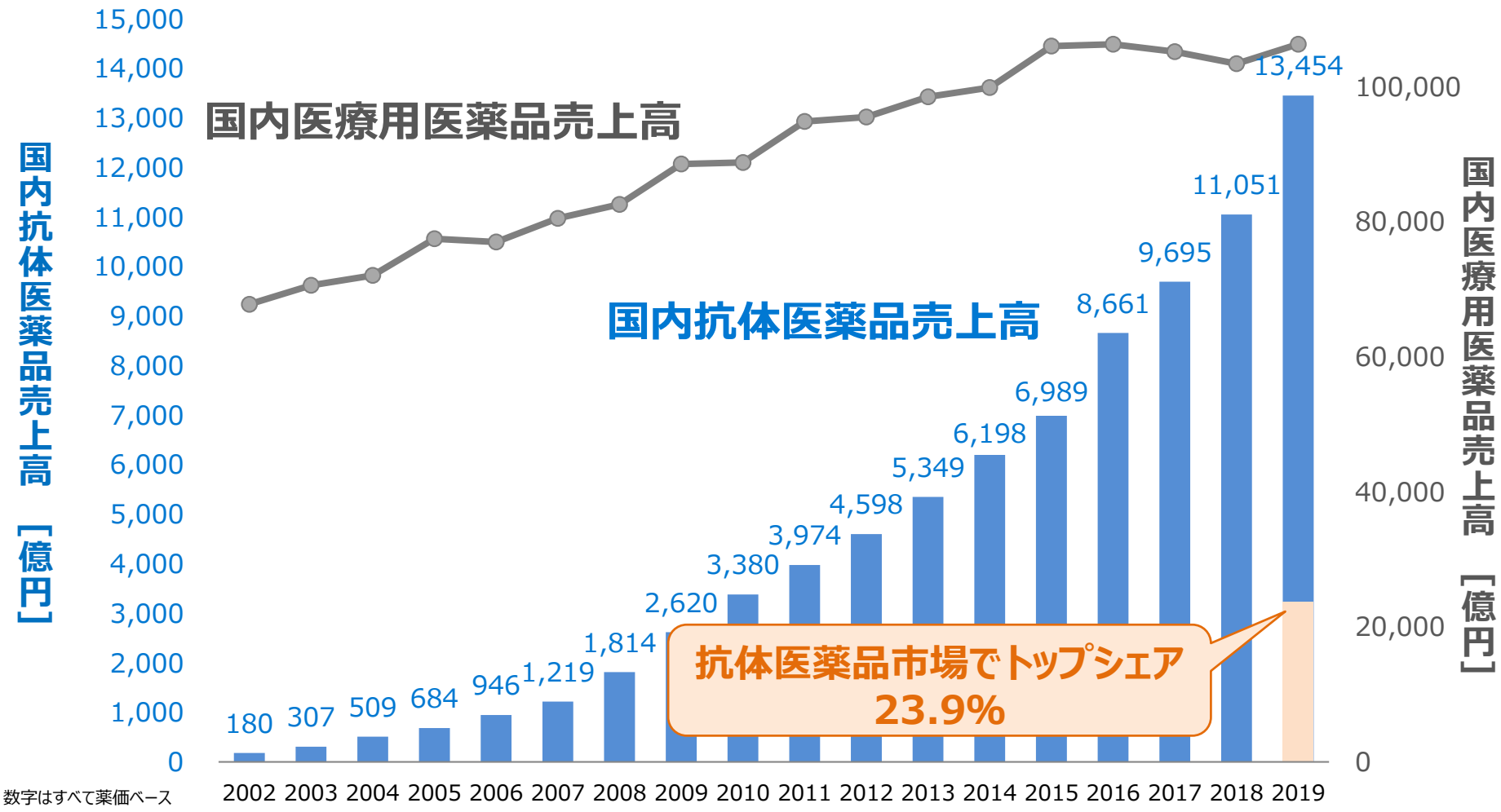
病原菌などの**異物（抗原）**が体内に入ってきたときに、その**異物と結合して無毒化させようとする物質を抗体**といいます。この作用は「抗原抗体反応」と呼ばれ、人間が持っている免疫機能と言われるものです。

抗体医薬品は、この**抗原抗体反応を人工的に利用したくすり**です。



抗体医薬品の国内売上高推移

医薬品市場の成長が鈍化するなかで、抗体医薬品市場は飛躍的に成長してます。

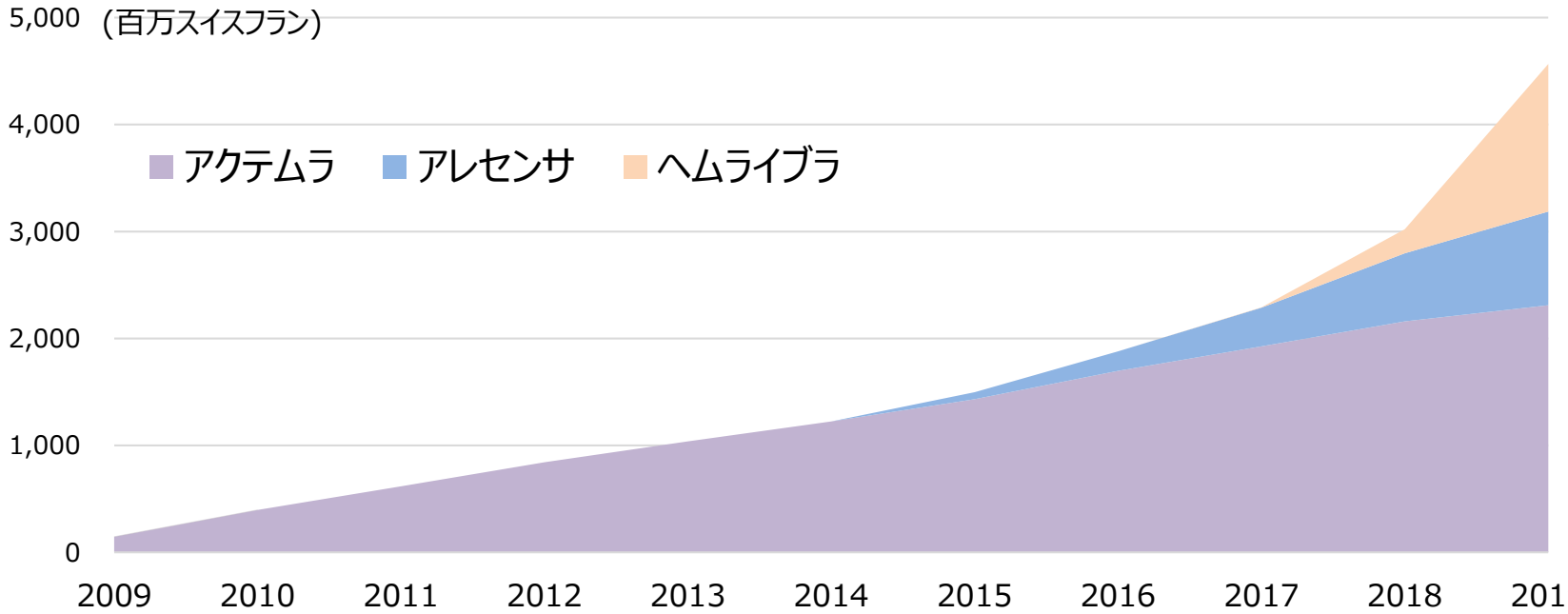


数字はすべて薬価ベース

Copyright © 2020 IQVIA. 出典：IQVIA 医薬品市場統計2002~2019年12月MATをもとに作成　無断転載禁止　市場の定義は中外製薬による

自社創薬品の世界売上高

3品目の世界売上高の年間合計は、すでに5,000億円を超えています。



アクテムラ®

- 日本初の抗体医薬品
- 適応症：関節リウマチなど
- 全世界で売上2,000億円以上

アレセンサ®

- 当社が推進する個別化医療の代表例
- 適応症：ALK陽性 肺がん
- 1次治療の承認取得（日/米/欧）

ヘムライブラ®

- 独自の抗体技術を活用
- 適応症：血友病A
- 全世界で売上1,000億以上

本日の内容

- 会社概要
- **ロシュとの戦略的アライアンス**
- 中外の創薬力
- 更なる成長に向けた取り組み
- 業績と株式関連情報
- まとめ

ロシュとは

Roche

CHUGAI
Roche ロシュ グループ

医薬品売上と診断薬事業売上のそれぞれで世界一位のグローバル企業グループです。

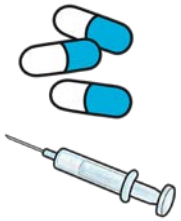
設立	1896年10月
売上高	7兆1,600億円*
営業利益	2兆5,200億円*
従業員数	97,735人
本社	スイス、バーゼル
拠点の数	約150カ国

2019年12月期実績　*1CHF=112.3円で算出

中外-ロシュのビジネスモデル

CHUGAI
Roche ロシュ グループ

Roche ロシュ導入品



画期的新薬の
国内独占販売

↓

安定的な収益基盤
（ロシュとの共同による
効率的な新薬創造）

CHUGAI 自社創製品

革新性の高い
創薬に特化可能

↓

成長を牽引する収益基盤

（ロシュへの導出、
グローバル市場展開）

- ロシュ品を国内で独占的に販売できます。この安定的な収益基盤により、当社は、革新性の高い独自技術や創薬への集中投資が可能となります。さらに、自社創製品をロシュに導出することで、グローバル市場に展開することができて、成長を牽引する収益基盤となります。
- ロシュにとっても、革新性の高い研究に特化した中外品をグローバル市場で販売することができます。

豊富な開発パイプライン

がん

- AF802 (RG7853)
  非小細胞肺がん (アジュバント)
- OBP-301
  食道がん
- GC33
  肝細胞がん
- ERY974
  固形がん
- AMY109
  固形がん
- STA551
  固形がん
- SPYK04
  固形がん

36
プロジェクト

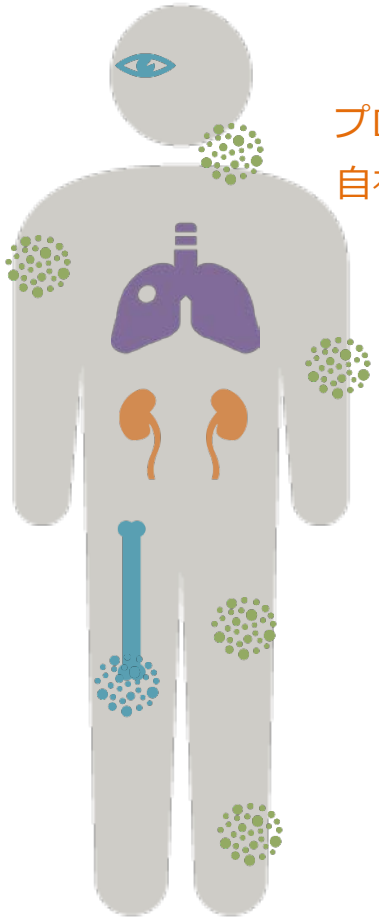
自社品：7プロジェクト

骨・関節

- ED-71
  骨粗鬆症 [中国]
- NRD101
  変形性膝関節症/
  肩関節周囲炎 [中国]

2
プロジェクト

自社品：2プロジェクト



腎

- EOS789
  高リン血症

1
プロジェクト

自社品：1プロジェクト

神経疾患、その他

- エンスプリング/SA237 (RG6168)
  視神経脊髄炎スペクトラム障害
- MRA (RG1569)
  新型コロナウイルス肺炎
- ACE910 (RG6013)
  後天性血友病A
- SKY59 (RG6107)
  発作性夜間ヘモグロビン尿症
- GYM329 (RG6237)
  神経筋疾患
- PCO371
  副甲状腺機能低下症
- AMY109
  子宮内膜症
- NXT007
  血友病A

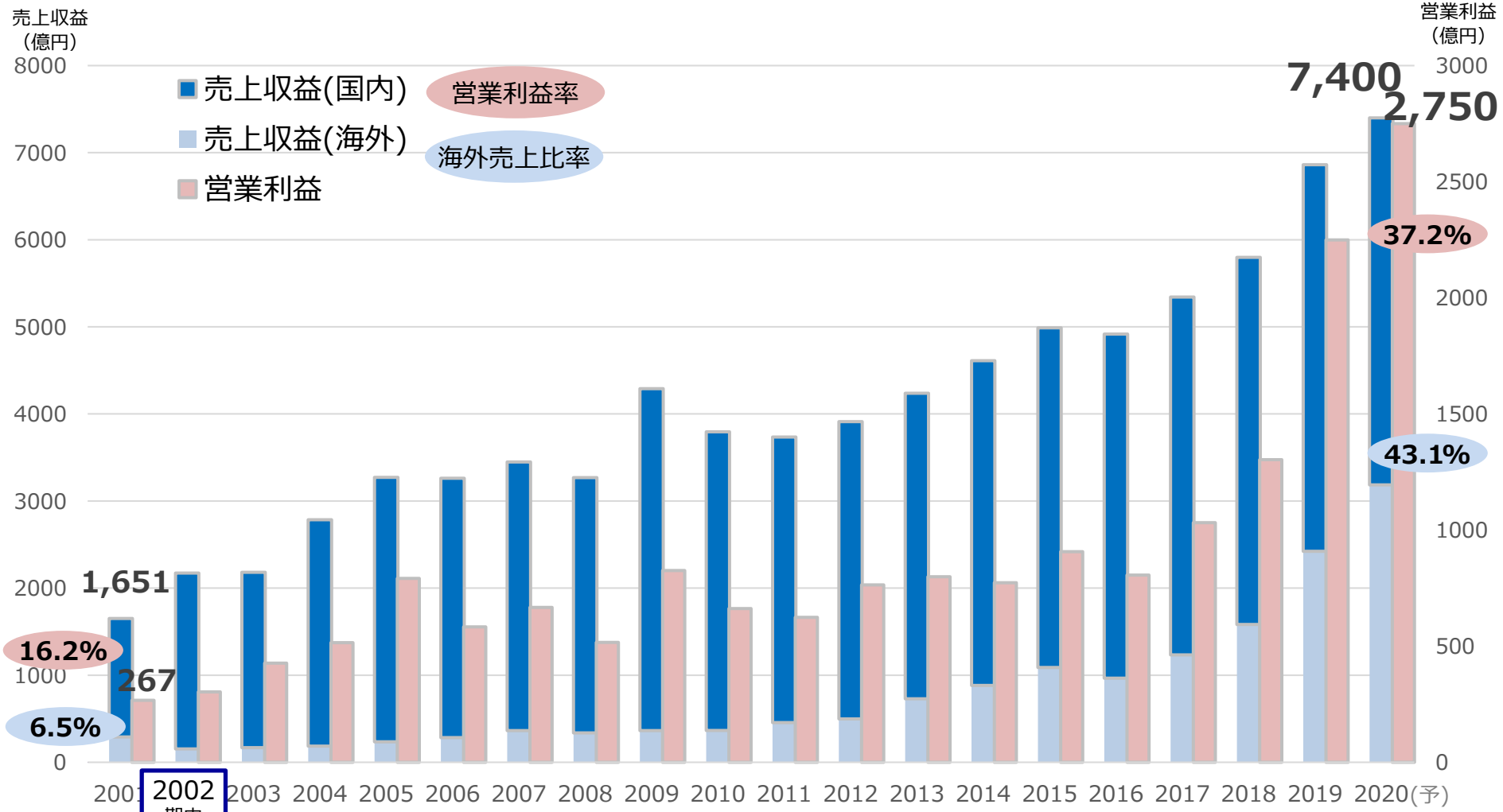
17
プロジェクト

自社品：8プロジェクト

2020年10月22日現在

戦略的アライアンス以降の成長

18年間で、売上は約4.5倍・営業利益は10倍強・営業利益率は約２.3倍
海外売上比率は約6.5倍、売上・利益の過去最高を4年連続で更新する予定です。



2012年以前はJGAAP、2013年以降はIFRS Coreベース。売上収益はOTC/診断薬を除く。

本日の内容

- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- **中外の創薬力**
- 更なる成長に向けた取り組み
- 業績と株式関連情報
- まとめ

創薬力の源泉

- 革新的なシーズを獲得することができる基礎研究ネットワークを構築してます。
- 疾患ターゲットへの最適なアプローチを可能にするモダリティ（低分子、抗体、中分子の創薬技術）を保有してます。

疾患原因分子の深い理解

適切な創薬ターゲットの選択

革新的医薬品創製技術の開発

技術とターゲットの融合

- 低分子創薬技術
- 中分子創薬技術
- 次世代(高機能化)抗体

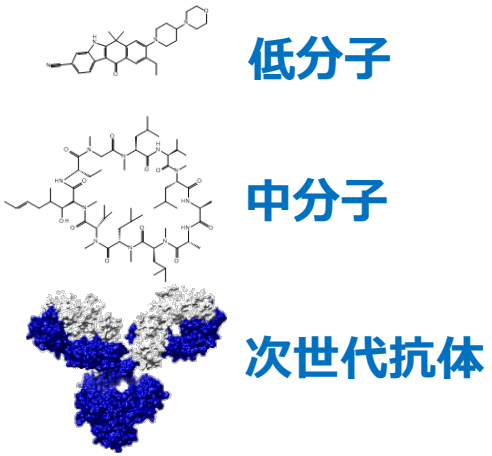
アカデミア

研究ネットワーク

共同研究

サテライトラボ

アンメットメディカルニーズへ対応



低分子

中分子

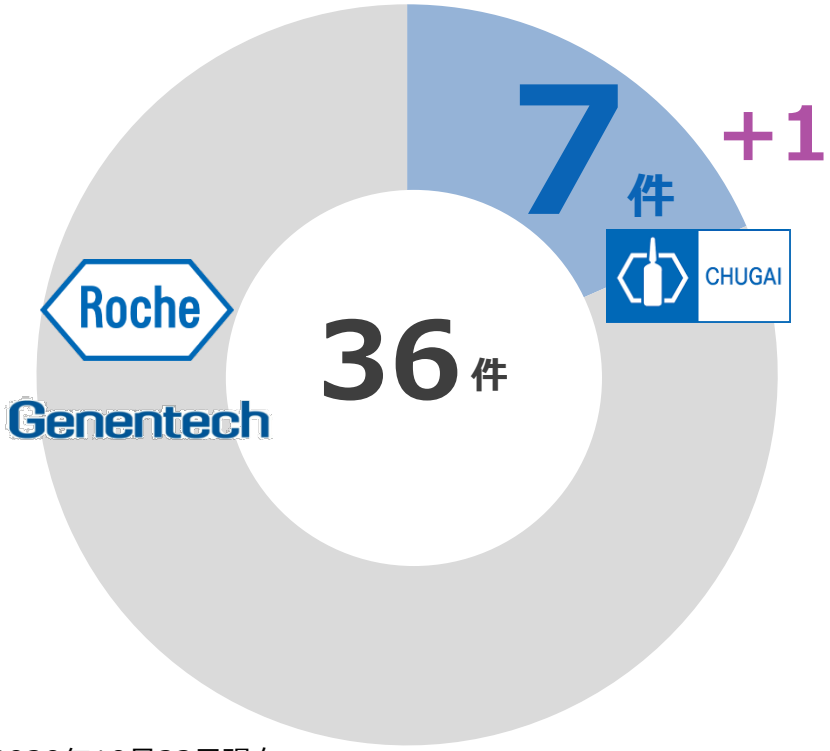
次世代抗体

革新的医薬品の創製

当社が創製したした5品目/８プロジェクトが、米国食品医薬品局（FDA）より ブレークスルーセラピー※に指定されています。

※ブレークスルーセラピー指定制度：革新的な治療薬の開発・審査の促進を目的にしたFDAの制度

ロシュグループ製品で指定されたうち
約2割が中外製薬が創製した薬



年度	品目	適応症
2019	ネモリズマブ	結節性痒疹 （ガルデルマ社にて開発中）
2018	エンスプリング	視神経脊髄炎スペクトラム
	ヘムライブラ	血友病A（非インヒビター）
2016	アクテムラ	巨細胞性動脈炎
	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺がん1次治療
2015	アクテムラ	全身性強皮症
	ヘムライブラ	血友病A（インヒビター）
2013	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺がん２次治療

2020年10月22日現在

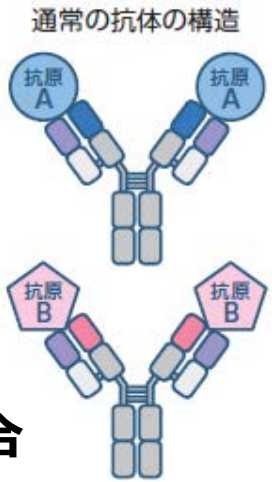
中外独自の革新的抗体技術

オンリーワン、ナンバーワンの独自技術を用いて革新的な抗体医薬を創製し、
世界の医療と人々の健康に貢献します

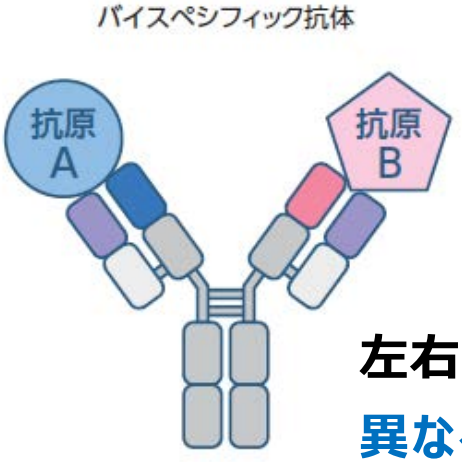
次世代抗体	特徴	代表的な新薬・開発品
リサイクリング抗体®	抗原に何度も結合でき、長時間効果が持続する抗体	**エンスプリング**、クロバリマブ、AMY109
スイーピング抗体®	病気の原因となる抗原を血中から除去する抗体	GYM329
バイスペシフィック抗体	2つの異なる抗原と結合可能な抗体	**ヘムライブラ**、NXT007
T細胞リダイレクティング抗体（TRAB®）	T細胞とがん細胞を架橋することで抗腫瘍効果を高めた抗体	ERY974
スイッチ抗体™	疾患部位で特異的に作用を発揮する抗体	STA551

※青字は新薬

バイスペシフィック抗体とヘムライブラ

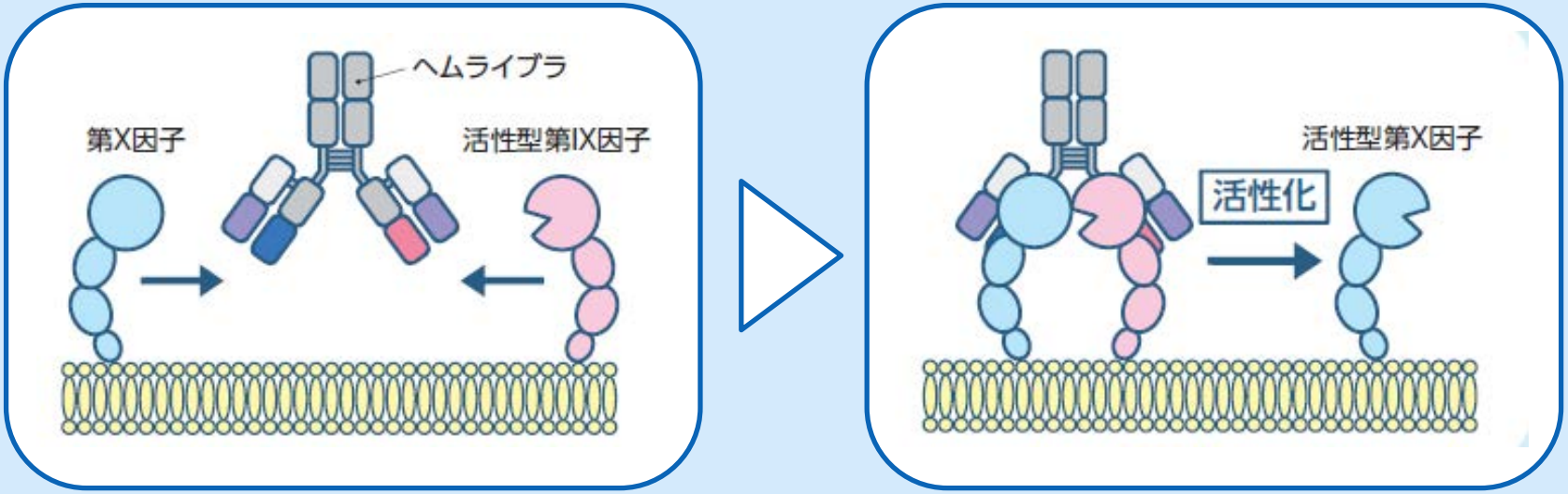


左右の腕が、
同じ抗原と結合



左右の腕が、
異なる抗原と結合

HEMLIBRA
ヘムライブラ®



ヘムライブラが、第IX因子と第X因子をくっ付けて、血液を凝固させます。

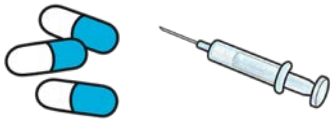
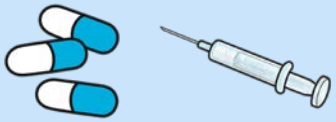
出典：北沢　剛久、嶋　緑倫：生化学89(3)；325-32, 2017

次のグローバル候補品

	エンスプリング	ネモリズマブ
予定する適応症	視神経脊髄炎スペクトラム障害	① アトピー性皮膚炎 ② 結節性痒疹
開発状況	• 2020年8月発売（日米他） • 2019年申請済み（欧）	① 第Ⅲ相（海外/国内） ※国内は申請済み ② 第Ⅱ相（海外）
特徴	• 当社**独自の抗体技術**によって創製 (リサイクリング抗体) • 米国にて**画期的薬剤**に指定 • 高い利便性（4週1回投与、皮下注） • **ロシュに導出済み**	• **新規作用機序**の抗体医薬品 • 米国にて**画期的薬剤**に指定 • かゆみ及び皮膚炎に効果を示す • 皮膚科領域を専門とするパートナー（海外:**ガルデルマ**、国内:**マルホ**）**に導出済み**

新たな創薬モダリティ（創薬技術）

- 低分子医薬品と抗体医薬品の利点を兼ね備えるのが**中分子医薬品**です。
- これまで狙うことが難しいとされた標的にもアプローチが可能とされています。

	低分子	中分子	抗体（高分子）
分子量	500以下	**500～2,000**	10,000以上
投与経路	経口／注射 	**経口／注射** 	注射
標的特異性	△		

更なる将来投資

成長の布石として、研究・生産機能への投資を積極的に進めてまいります。

低・中分子原薬製造棟　＜静岡県藤枝市＞

182億円の投資 、2022年竣工予定

当社初の中分子治験原薬の製造機能、
低分子治験原薬の供給能力増強
高薬理活性化合物の高度な封じ込め設備を
採用し、環境へ配慮

中外ライフサイエンスパーク横浜　＜神奈川県横浜市＞

1,273億円の投資、2022年竣工予定

グローバルで最高品質の革新的新薬を創出
するための中核的研究拠点の設立
近隣との調和を図ったデザインとし、省エネ
ルギー対策や排出CO_2削減など、環境へ配慮

新型コロナウイルスに対する抗体医薬品開発

自社創製品「アクテムラ」の適応拡大

- 重症COVID-19肺炎による成人入院患者を対象にP3試験（COVACTA試験）を実施*
- 重症COVID-19肺炎による入院患者を対象にレムデシビルとの併用によるP3試験（REMDACTA試験）を実施中*
- 重症COVID-19肺炎による入院患者を対象に国内P3試験（J-COVACTA試験）を実施中

共同研究

CPRがA*STARと共に当社の抗体エンジニアリング技術を適用する抗体医薬品の共同研究を開始

技術導出

イーライリリーと、複数の抗体エンジニアリング技術に対する非独占的ライセンス契約を締結

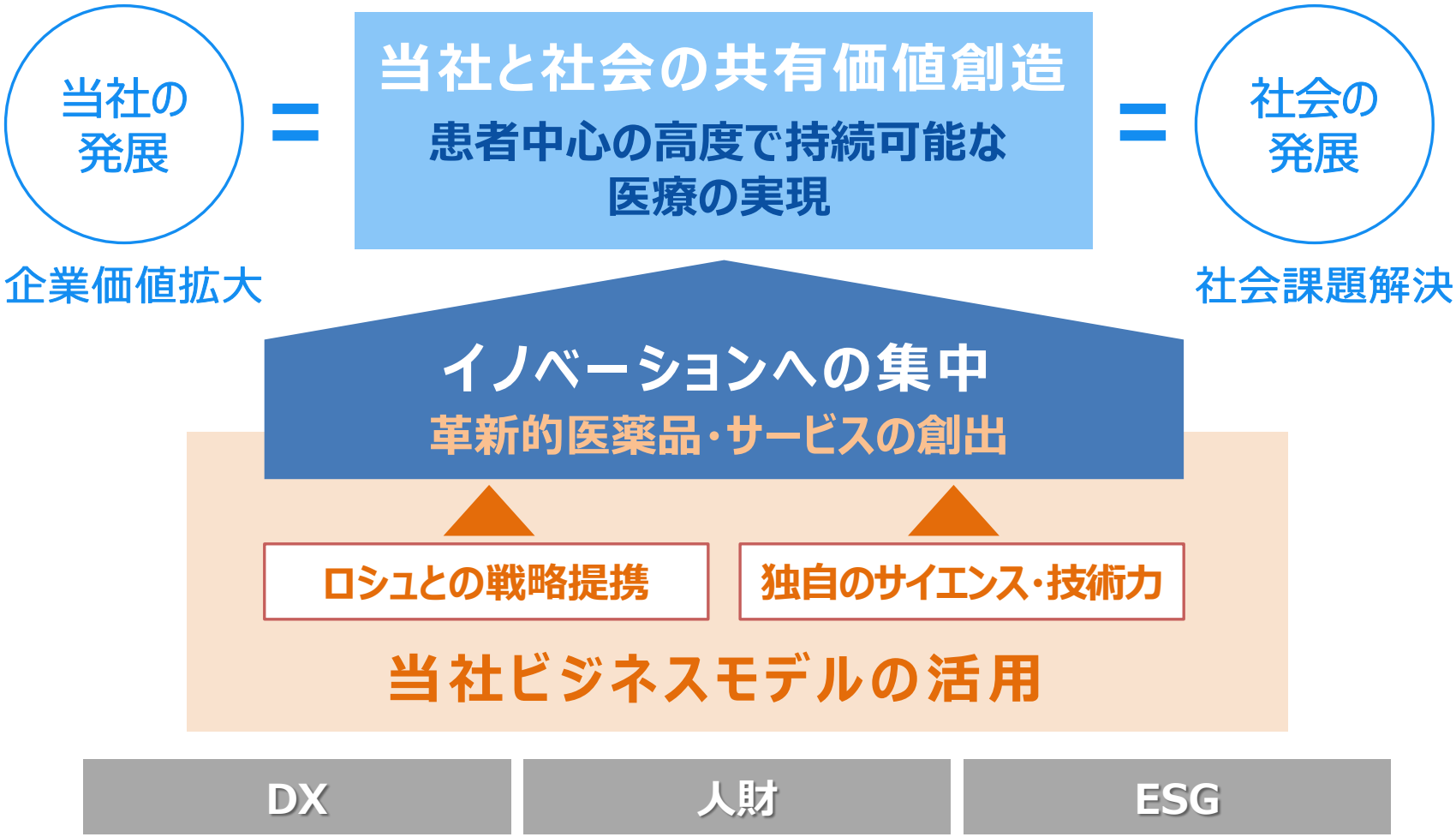
* ロシュ社が海外で実施
CPR：中外ファーマボディ・リサーチ
A*STAR：シンガポール科学技術研究庁

本日の内容

- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- **更なる成長に向けた取り組み**
- 業績と株式関連情報
- まとめ

目指す姿

ロシュとの協働のもと、独自のサイエンス力と技術力を核として、患者中心の高度で持続可能な医療を実現する、ヘルスケア産業のトップイノベーターとなります。



中外デジタルトランスフォーメーション

2020年3月にChugai Digital Vision 2030を発表しました。

CHUGAI DIGITAL

デジタル技術によって
中外製薬のビジネスを革新し、
社会を変えるヘルスケアソリューションを
提供するトップイノベーターになる

ビジネスを革新

- AI活用⇒革新的医薬
- 全バリューチェーン効率化
- 革新的サービス提供
- 社員の意識・組織・風土変革

社会を変える

- 最適な個別化医療提供
- ライフタイムを通じた高いQoL（生活の質）実現
- 持続可能な社会保障システム

中外DXの取り組み事例

デジタル基盤構築

大容量データを安全に利用、移動、保管するためのIT基盤を構築

- 社内データの部門横断的な活用の促進
- アカデミアや病院との共同研究プロジェクトを迅速に推進する研究環境の提供
- 作業の共通化・自動化による環境構築コスト削減・期間の短縮
- ゲノムデータ等の高いセキュリティが要求されるデータの安全な取扱
- 情報流出、外部攻撃等の安全性リスク低減

全てのバリューチェーン効率化

AIと人間が協働し、自動化された生産　**Drニーズを予測し提案する営業**

デジタル
プラント

データ+MR

生産・営業プロセスを中心とした大幅な生産性向上

デジタルを活用した革新的な新薬創出

創薬プロセスの革新

AIを活用した
創薬

開発プロセスの革新

RWD/RWE
ゲノム診断

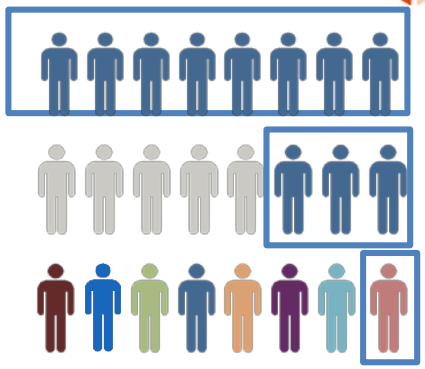
患者アウトカムの可視化

デジタル
バイオマーカー

革新的な製品・サービスの連続的創出・提供

革新的なサービスの提供

FoundationOne® CDx
がんゲノムプロファイル



従来型医療

標的療法

個別化医療

【事例】AI創薬

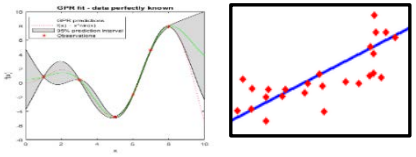
デジタルを活用した革新的な新薬創出

CHUGAI
Roche ロシュ グループ

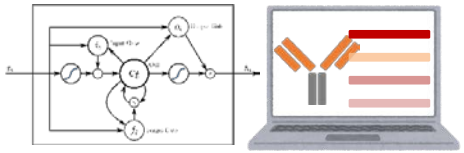
- **新規配列の予測結果を実験に提案**
- **試行錯誤のスピードアップとイノベーションの確率上昇**

多様な抗体の特性Data

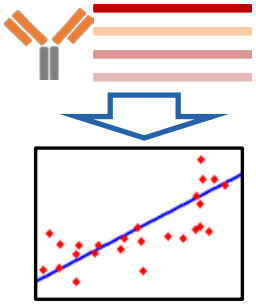
特性予測モデル



新規抗体配列生成



AIによる開発候補提案



研究者による評価・判断

実験 ← → AI → 実験

中外DXの評価等

DX銘柄2020
Digital Transformation

- 日本企業のDXを加速していくことを目的に、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定
- 国内上場会社約3,800社から**35社が選定**
- **医薬品業界**におけるDX銘柄2020選定は、**中外製薬のみ**

CHUGAI DIGITAL ウェブサイト
https://www.chugai-pharm.co.jp/profile/digital/index.html

CHUGAI DIGITAL コンセプトムービー
https://youtu.be/SWOYtFX5-1U

デジタル戦略説明会（2020年12月2日開催）
https://www.c-hotline.net/Viewer/Default/CHPH3d30c098e515443f8f148dea90b8b5bc

社会的課題解決への貢献

経済的な成長と共に、環境・社会システムなどへの課題解決に貢献することが、社会全体の持続性向上に寄与し、当社のイノベーションへの挑戦も支え、長期的な発展を支える基盤になると確信しています。

企業価値 ＝ 経済価値 ＋ 社会的価値

E：環境

■ **地球環境**

＜具体例＞
気候変動対策/環境マネジメントシステム　等

CO_2排出量削減目標:
- 2030年は50%以上削減
- 2050年はゼロを目指す

S：社会

■ **持続可能な医療**
■ **ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ**
■ **人権**
■ **社会貢献**

＜具体例＞
- 医療、福祉、共生社会、次世代育成、地域社会への貢献　等

G：ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ

■ **ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ**
■ **倫理・ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ**
■ **人財**

＜具体例＞
- リスクマネジメント、情報開示と対話、行動規準、人財マネジメント　等

ESG等についての外部評価

GPIFが採用している全てのESGインデックスに組み入れられています。

2020 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

FTSE Blossom Japan

S&P/JPX カーボンエフィシェント指数

世界的な社会的責任投資指数に継続的に選定されています。

FTSE4Good

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM

- 全世界の医薬品企業の上位8社で構成される「DJSI World」に初選定（当社は世界3位）
- 社会責任投資指数である「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に6回目の選定

本日の内容

- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- 更なる成長に向けた取り組み
- **業績と株式関連情報**
- まとめ

2020年の業績予想

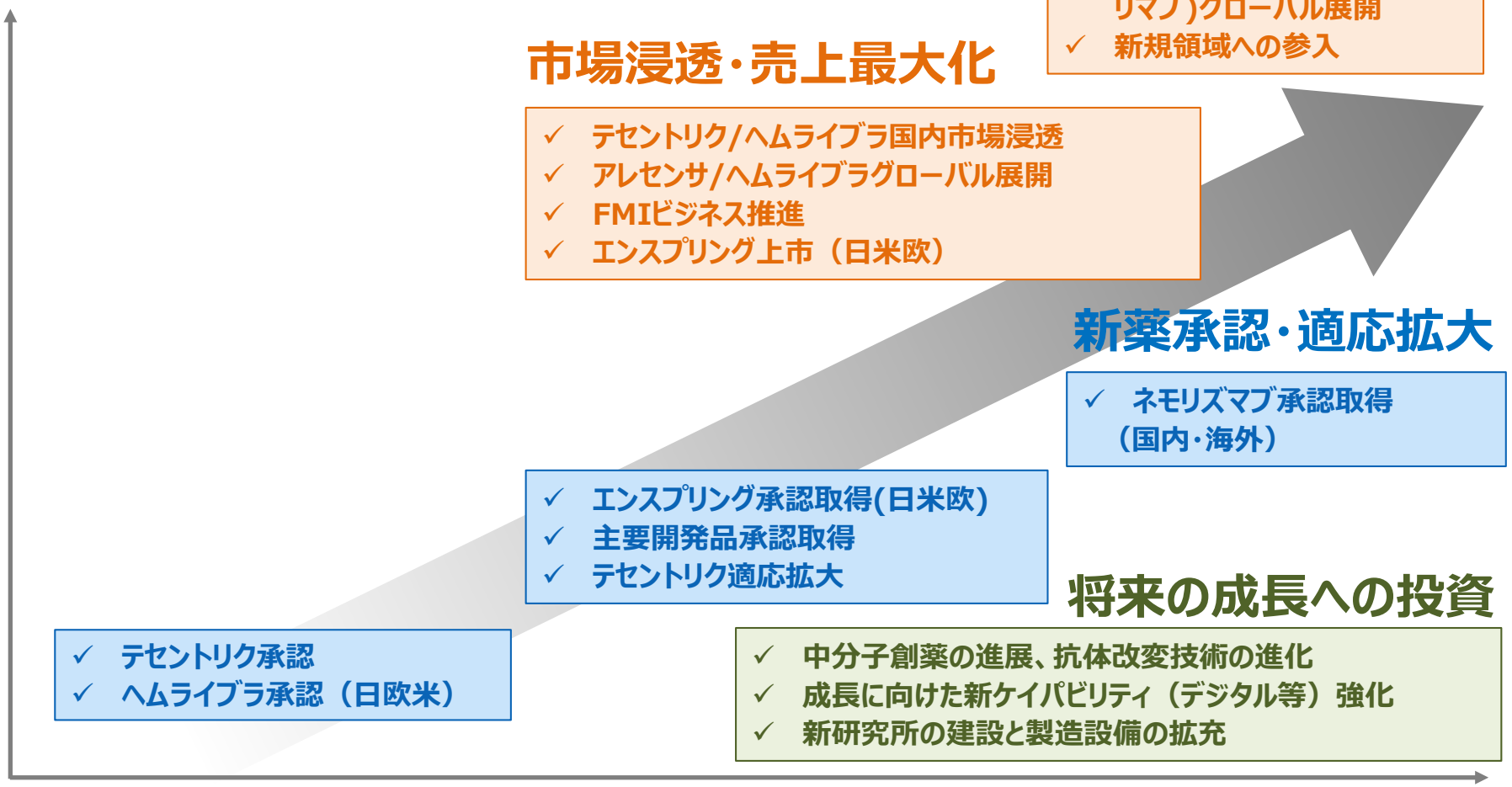
国内は苦戦するも、自社品の輸出・ロイヤルティ収入等により増収増益で過去最高を４年連続で更新する業績を予想しております。

【億円】	2019年 実績	2020年 予想	対前同	
売上収益	**6,862**	**7,400**	**+538**	**+7.8%**
製商品売上高	5,889	5,800	△89	△1.5%
国内	4,376	4,116	△260	△5.9%
海外	1,513	1,684	+171	+11.3%
ロイヤルティ等収入及び その他の営業収入（ROOI）	973	1,600	+627	+64.4%
Core営業利益	**2,249**	**2,750**	**+501**	**+22.3%**
Core EPS（円）	**305.80**	**122.00**	-	-
		* 366.00	+60.20	+19.7%

＊ 2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行う。株式分割を考慮しない場合の数値を記載。

今後の見通し

グローバル及び国内での成長ドライバーの市場浸透・拡大に加え、エンスプリングの承認取得・上市により更なる成長を目指します。

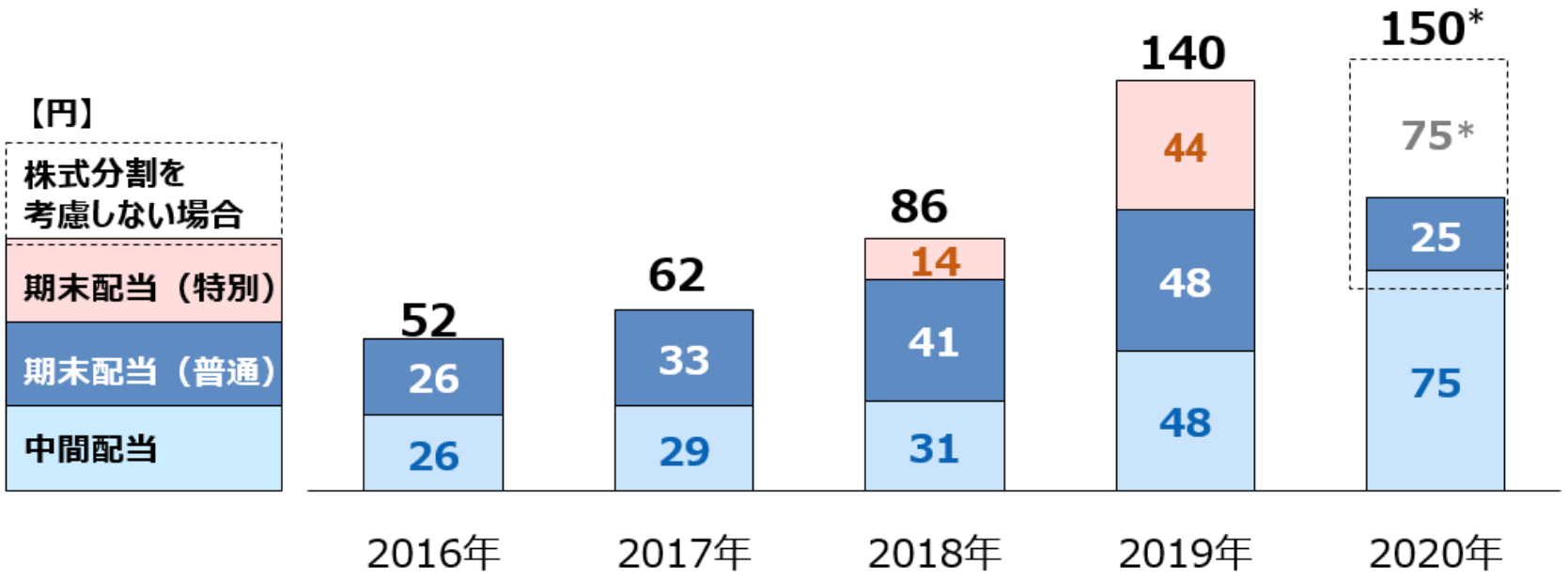


株式の基本情報

■ 単元株：100株　■ 証券コード：4519（東証1部）

■ 株主優待：なし

■ 利益配分に関する基本方針
戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案した上で、Core EPS対比
平均45%の配当性向を目処に、安定的な配当を行うことを目標とします。



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
Core配当性向	5年平均	49.2%	48.4%	48.6%	47.4%	45.0%
	単年度	50.7%	44.7%	48.7%	45.8%	41.0%

*2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を実施済み。ここでは、株式分割を考慮しない場合の数値を記載。

本日の内容

- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- 更なる成長に向けた取り組み
- 業績と株式関連情報
- **まとめ**

本日のまとめ

中外製薬は

✓ スイスに本拠を置く
ロシュグループのメンバーで

✓ **医療用医薬品に特化**した
専業メーカーで

✓ **がん領域**および**抗体医薬品の分野で**
トップシェアを有しており

✓ **ヘルスケア産業のトップイノベーター**を
目指しています。

お問い合わせ先

広報IR部
インベスターリレーションズグループ

電　話　　03-3273-0554

Eメール　　ir@chugai-pharm.co.jp

担　当　　笹井、櫻井、島村、吉村、山田